

1 教科について

国語

昨年度の課題

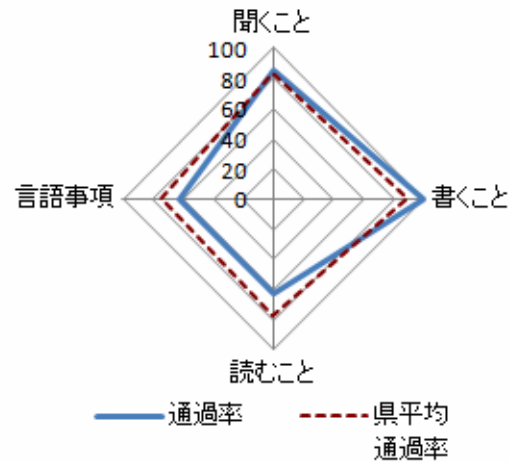
- ① 「聞くこと」話の内容を聞き取ることができる問題では、項目を立ててメモを取ることが不十分である。
- ② 「言語事項」ローマ字で表記されたものを読んだり簡単な単語についてローマ字で書いたりする問題では、濁点が使われているものを読むことや、子音を正しく書くことが不十分である。
- ③ 「読むこと」発表原稿において写真を提示する場面的に選択することが不十分である。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

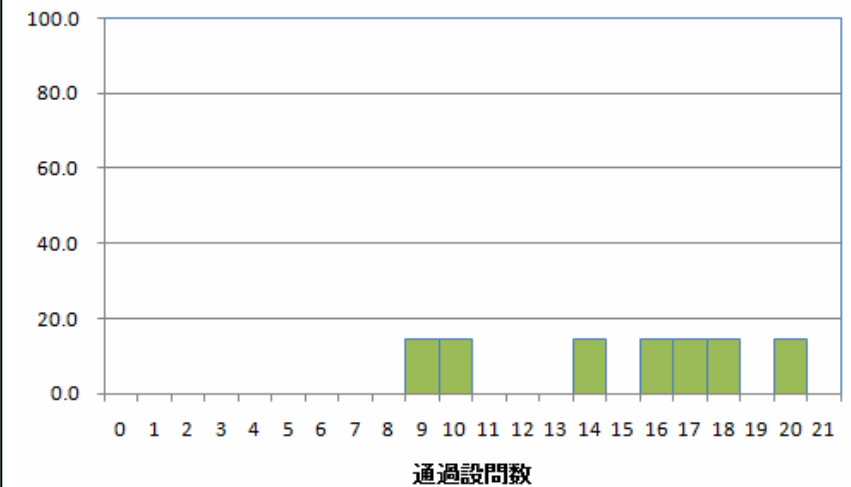
- ① 児童朝会後の聞き取りノートを使って、項目立てて内容をまとめる練習をしたり、帯時間を使って1分間スピーチなどを行ったりする時に、事前にメモを書きおき、それをもとに話す機会を設けたりした。
- ② 帯時間にローマ字をフラッシュカードを使って練習したり、家庭学習において1日1問ローマ字の課題を出したりして継続的に指導を行った。特に濁点やつまる音が含まれている単語を意図的に繰り返し指導した。
- ③ 指示語を適切に使ったり読み取ったりできるように、指示語に線を引いたり段落相互の関係をつかませたりした。また他教科等において調べたことを資料や写真を提示しながら説明する言語活動を取り入れた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 70.7% 県平均 78.5%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎ 「言語事項」…国語辞典で調べるときどんな順番で出てくるかを問う問題では、50音の順番や濁点がつく場合の理解が不十分である。
- ◎ 「読むこと」…物語文において場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むことや説明においては、文脈を考えながら理由を書くことが不十分である。
- ◇ 「書くこと」…相手の考えと自分の考えについて比較し、その違いを理由を明確にして書くことができるかどうかをみる問題では、考えの中心となる文とその理由となる文との関係が十分理解できていない。またある条件に沿ってまとめて整理して書くことができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 辞書の使い方の学習の指導を再度行う。教室に常時辞書を準備しておき、どの教科でも日常的に辞書を引く習慣を付ける。また、参観日に保護者へも啓発して家庭でも辞書引きの習慣を付けていく。
- ② 読解力の向上につながるように、いろいろな教科で音読を組み入れていく。朝の帯時間において学年に応じた読解スキルを定期的に実施していく。短時間で長文を読みこなせるように音読や集団読書を積み重ねていく。
- ③ 自分と相手の考えの共通点・相違点を明確にしながる必要に応じ相手の考えのよさを取り入れて自分の考えを書くように指導していく。そのためには、自分の考えが明確になるよう文章の構成や語や文及び段落の続き方に注意してまとまりのある文章を記述できるように要約の力を付けていく。また、新聞記事を使って賛成・反対の立場を明確にして、自分の意見を書かせる言語活動を取り入れる。

来年度の目標値

○国語科の学校平均を県平均の通過率まで達成させる。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

### 昨年度の課題

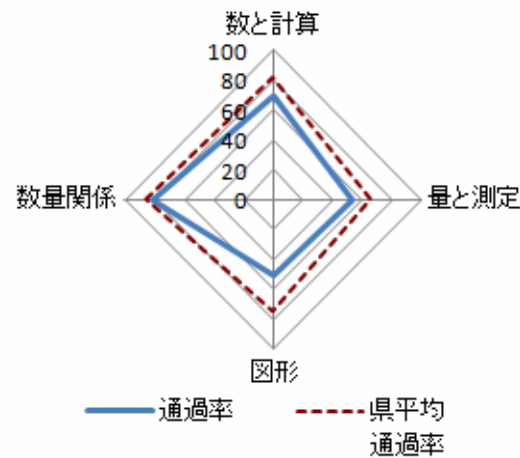
- ① 「図形」 定規で方眼紙に直角三角形を作図することが不十分である。
- ② 「数量関係」 数量の関係を見つけて立式することが不十分である。
- ③ 「図形」 立体図形や平面図形・見取り図から対応する辺の長さなどを読み取ることが不十分である。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

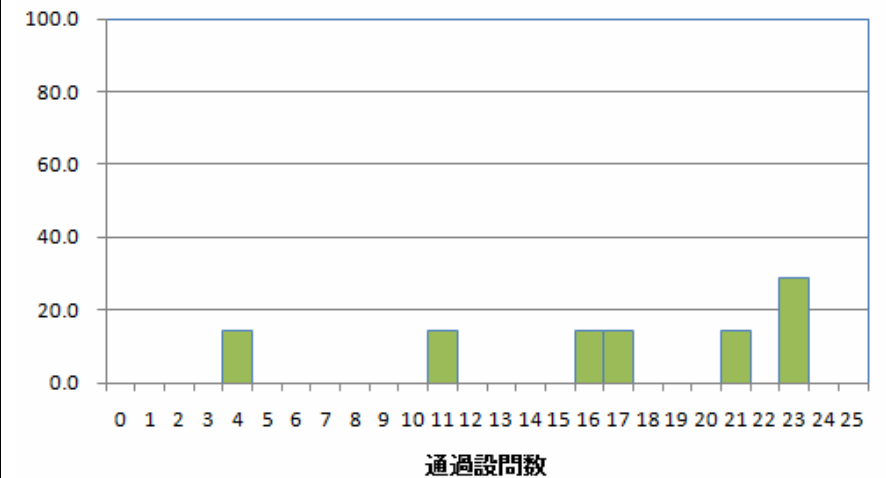
- ① 授業の中で図形の定義・性質の理解とともに操作活動を多く取り入れてきた。また、図形の定義や性質を示しながら説明する言語活動を取り入れてきた。
- ② 自力解決の場面で十分時間を確保し、図や表式など多様な表現様式を取り入れて解決させていき、二人組で考えの交流を行っていき自分の考えを整理をさせた。また、ノート指導により接続詞を使って自分の考えを書く言語活動を取り入れてきた。
- ③ 問題文を順序立てて読み取っていくことができるようにするために、図の中に分かっている数値や記号を記入させながら問題を解く習慣をつけていった。また算数的活動を仕組み算数用語を使って説明する場面をもってきた。

「基礎・基本」 定着状況調査通過率 学校平均 **65.7%** 県平均 **77.8%**

領域別平均通過率(算数)



通過設問数ごとの児童割合(算数)



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」 定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「知識・理解」…分数の意味が理解できていないため、1を超える分数を正しく書き表すことが不十分である。
- ◎ 「数学的な考え方」…文章にある図形の性質を手がかりにその図形を決定することが不十分である。
- ◇ 「数と計算」…示された例を基に正しい図を判断し、その判断の理由を数学的に表現することが不十分である。

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

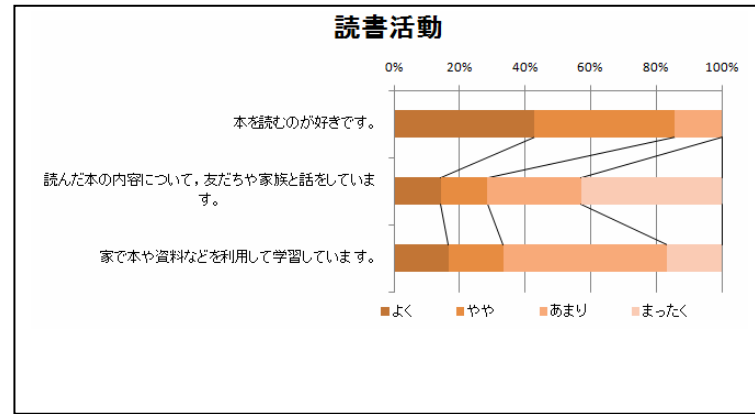
- ① 授業の中で分数の意味を説明するとき、5つの表現様式（図的表現・言語的表現・記号的表現など）を関連付けて説明させる。帯時間や学力補充・家庭学習を活用して、学習内容を復習させ、定着を図る。
- ② 授業の中で図形の性質や定義をもとに図形の説明を行わせると共に、図形クイズを行い、条件を絞って図形を決定していく経験を増やす。
- ③ 図と文章題を対応させて考えさせ、例示を基にきまりを理解し適用して問題を解く経験を増やす。論理的思考力を付けるために根拠を明確にし、文章に表す活動を充実させ、それを基に二人組で自分の考えを互いに説明する活動を行う。

### 来年度の目標値

○算数科の学校平均を県平均の通過率まで達成させる。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

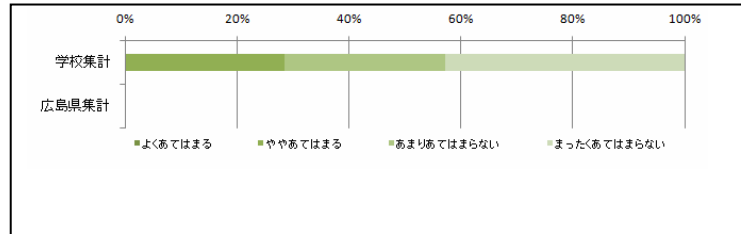


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎読んだ本の内容について友達や家族と話す機会をもつようにする。  ◇家庭学習において予習・復習に主体的に取り組む学習態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書においてクラス全員で同じ本を読むという集団読書を取り入れてお互いの感想や意見を交流する場を設定する。また家庭において、親子で一緒に同じ本を読むという親子リレー読書を行うことで、感想を共有できる場面を増やす。</li> <li>主体的に自主学習に取り組むために「家庭学習の手引き」を活用させ、教師は家庭学習の評価の工夫をして意欲を喚起させる。また、自主学習ノートの相互交流を行い、学びの場を設定する。</li> </ul>

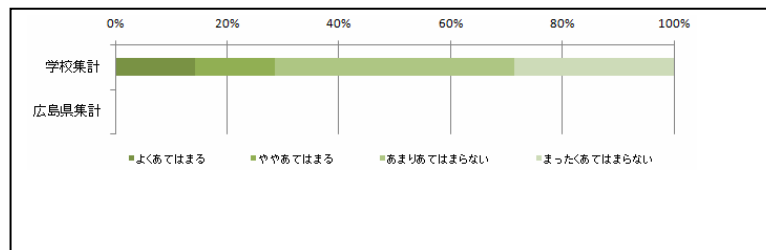
来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んだ本の内容について進んで友達や家族と話す機会をもつ児童・・・90%</li> <li>自主学習に主体的に取り組む児童・・・80%</li> </ul>

(2) 教科

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎国語の授業では、分からない言葉や漢字は辞書を使って調べようとしなない。  ◇長い文章を読み、内容を理解することに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室に常時辞書を準備しておき、どんな教科でも日常的に辞書を引く習慣を付ける。また、保護者へも啓発して家庭でも辞書引きの習慣を付けていく。</li> <li>長文を読解するために、長文を読むことに慣れ、文が要約できる力を付ける。</li> <li>「親子読書」など、家庭と学校が連携して、読書の習慣をつけるように啓発する。</li> </ul>
算数	◎算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明していると答えた児童が少ない。  ◇難しい問題に対して、最後まで取り組む姿勢に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート指導において自力解決の際、自分の考えを式や言葉・図・表などを使って書かせていく。まず二人組で自分の考えを説明させることによって考えを整理させ自信をつけさせ、その後全体の場で発表させていく。</li> <li>児童が主体的に課題を解決する学習過程を取り入れた授業のモデルを確立していく。</li> <li>児童に対する肯定的な評価を工夫し、振り返り活動を充実させる。</li> </ul>
	来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠をもとに自分の考えを説明できる児童・・・90%</li> <li>学習に意欲的に取り組む児童・・・90%</li> </ul>

